**平和統一運動次世代リーダー育成のための**

**「私から始まる平和統一大賞」青年スピーチ部門及びエッセイ応募原稿フォーマット**

**■「私から始まる平和統一大賞」とは**

　’為に生きる’神様主義の真の愛を根本精神として国籍と思想、組織を超越して、国内外の韓民族の和合と統一の実現を目指す平和統一聯合は、2024年より平和統一運動を同世代や後に続いていく世代の力とするために、この賞を創設いたしました。

**■今年の募集テーマは「ＳＮＳ（ソーシャル・ネットワーキング・サービス ）」**

SNS（Facebook、X、Instagram、Line、KakaoTalk、TikTok、YouTube など）を通じた在日同胞や海外同胞との出会いや体験。自分が携わってきたプロジェクトにSNSを活用して成功した事例や失敗。そして、そこから得られた教訓など、これらの事を通じて、今の時代に合う平和統一運動をどのようにしたらよいか、またどのような発信が良い影響をもたらすのかなど、様々なエピソードを募集いたします！

|  |  |
| --- | --- |
| 応募条件 | 平和統一聯合に所属している会員、担当者。または左記から紹介を受けた方。 |
| 募集期間 | **青年スピーチ部門：**  募集日程及び大会日程は、ホームページ及び機関誌『平統解放』にてお知らせ致します。  ※ 第１連合会（北関東・東京・南関東）、第２連合会（北海道・東北）、第３連合会（東海、北信越）、第４連合会（近畿・中国・四国）、第５連合会（九州・沖縄）において、2025年6月15日（日）まで地方予選を行い、それぞれ代表１名を選抜し、本部に映像提出。  **会員及び一般部門　エッセイ募集：**　2025年４月１日（火）～2025年６月15日（日） |
| スピーチ  原稿規程 | **【青年スピーチ部門】**  ５分以上７分以内（制限時間を超過した場合は減点）。※パワーポイント使用可。  **【会員及び一般部門　エッセイ募集】**  800字以上3000字以内、１人１点。  ※両部門とも主となる言語を日本語で行うこと。部分的に韓国・朝鮮語、または他国の言語を使用しても良いが、日本語の意味を付け加えること。 |
| 応募方法 | Wordファイルのまま、応募フォームよりご応募ください。※ 青年スピーチ部門に応募の方も、同様に原稿を提出してください。郵送、FAXでのご応募はご遠慮いただいております。 |
| 発表 | 2025年６月下旬　ホームページにて公開。  入賞者には、メールまたはお電話にて直接ご連絡をさしあげます。  両部門の大賞受賞者は、７月４日東京都内の記念行事でスピーチします。  その交通費は本部負担。 |

**題名：私から始まる平和統一【SNS】**

**お名前：塚田　則子**

(下記より本文をご記入ください)

私から始まる平和統一[SNS]  
　北海道手稲西支部　塚田則子  
  
私は1950年3月30日産まれましたが丁度、韓国ではその年の6月に韓国動乱がおき同じ民族が引き裂かれて38度線による南北分断となりました。  
  
民主主義と共産主義による境界線がひかれることにより自由に行き来できなくなり又、多くの血が流されてきたことを知りました。  
  
後に私が高校生の頃ですが日本では共産主義思想が勢いを増し、リンチ、殺人と言う、痛ましい事件も起こりました。  
  
20歳を過ぎてから1971年頃文鮮明師の教理に基づく、世界基督教神霊協会に導かれ入教し、今日まで今日まで信仰の道を歩んでまいりました。  
  
今は世界平和統一家庭連合に名称がかわりましたが人生と宇宙に関する根本問題を解決して人間を幸福に導く事の出来る真理に出会い悪魔の共産主義を克服し、人類を平和に導く教え、み言葉を学び人間が誰しも願う本郷の地、創造主、天の父母様に出会い、祝福を受けて幸福に生きる生き方を身に付け、為に生きることにより喜びと感謝の生活をしています。  
  
また孝情の光となって地上天国、天上天国の生活を成し遂げる希望と喜びと感謝の生活を日々心かけて歩んでおります。  
  
聖書の黙示録には[人は神とともに住み、神は人と共に住んで人の目から涙をぬぐいとってくださる]と書いてあります。  
  
正に今がその時であるとおもいます。  
  
毎日[南北統一]のこの言葉はさけんでいます。  
  
毎日グループラインからくる情報をみながら韓半島の情報や在日(民団、朝総連)の活動をみながら元気をもらい希望を感じます。  
  
私は年をとってSNSなどはわかりませんが  
南北統一、平和統一のためなら祈るし心をともにしたいです。  
  
自分が出来ることは若い皆の活動を応援することしかできないです。  
  
韓総裁と一つになって南北の扉を開けて堂々と前進していきましょう。

以上